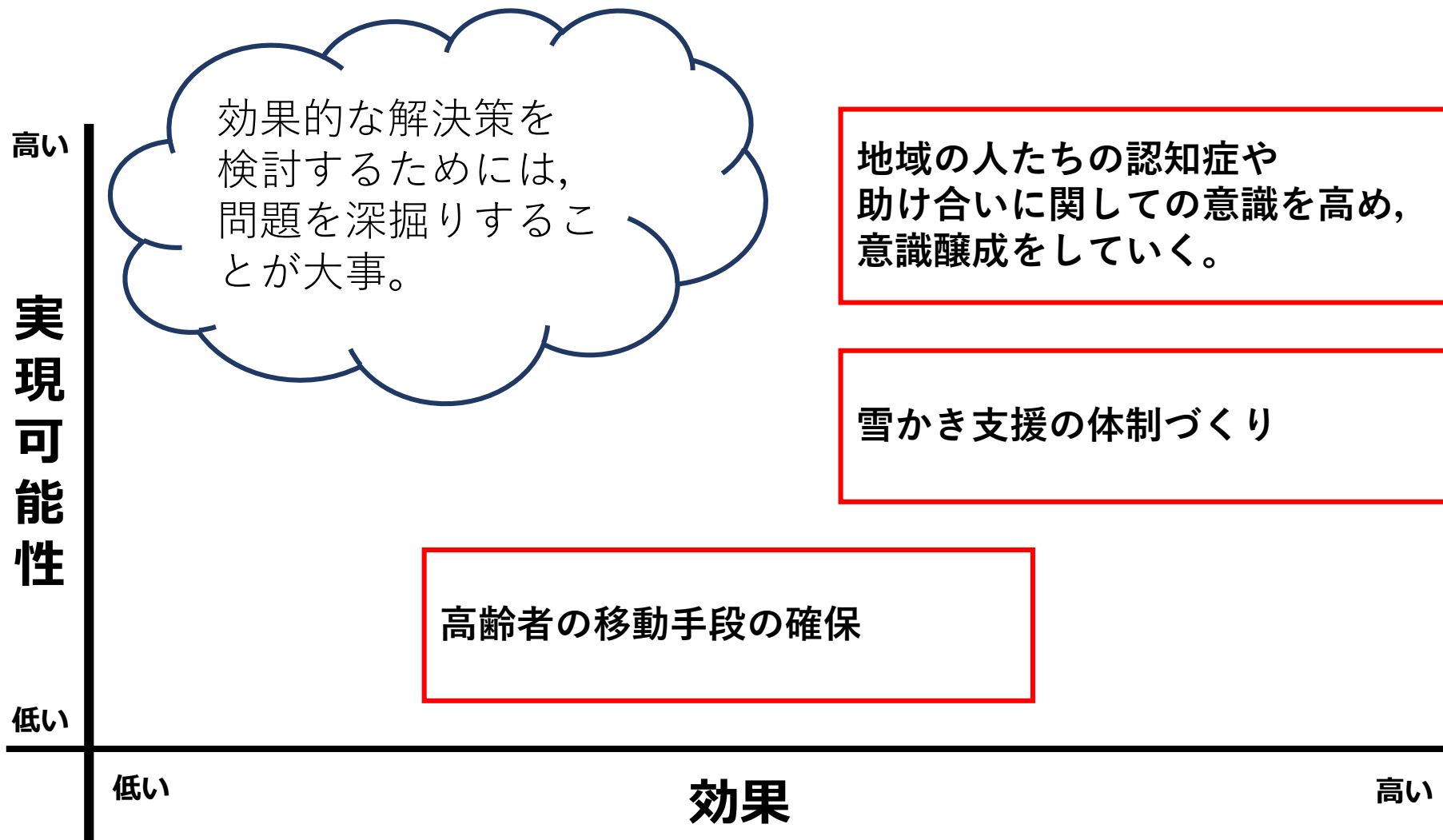


助け合いを広めるための 全市的な地域づくり

令和元年度第 1 回
函館市地域支え合い推進協議体

課題の優先順位



課題のもととなる問題

- ① 地域の人たちの認知症や助け合いに関する意識が十分ではない。
- ② 雪かき支援の体制が十分でない。
- ③ 高齢者の移動手段の確保が難しい。

問題を掘り下げる

この問題が暮らしへどのように影響しているのか？



この問題が起きている理由・要因は何か？
・根拠となる情報を出し合う（足りない情報は何か？）



何のために問題を解決するのか（目指す姿）を考える。

目指す姿に向けて具体策を考える

今ある資源を活用して
できることは？

すぐにできそうなことは？

調整や実現に時間がかかるが、
効果的なことは？

関係する機関と協働して
できることは？

具体策を考えるにあたって、
足りない情報は？

調整や実現に時間がかかるが、
効果的なことは？

次のアクションは？

○誰が（誰と）

○いつまでに

○何をどうするか

(参考) 地域支え合い協議体の視点

○生活支援体制整備事業の目的

多様な日常生活上の支援体制の充実・強化
および高齢者の社会参加の推進を一体的に図ること。

(参考) 地域支え合い協議体の視点

○生活支援コーディネーター (SC) とは

- ・ 住民主体の生活支援等サービス，助け合いの仕組みを構築する推進役
- ・ 支え合いや助け合いを広める
- ・ 第1層・第2層は仕組みづくりが役割

○協議体とは

- ・ SCの活動をサポートし，住民主体の助け合い活動を共に創出・充実する